

卒業ショー華やか

一宮高3年生が研究発表

一宮市の一宮高ファッション創造科三年生による卒業研究発表会が二十三日、一宮市民会館であり、観客八百人が華やかなステージを楽しんだ。

「服飾デザインや縫製の学ぶ「ファッション」を学ぶ「ファッション」

「造形コース」の生徒二十一人は、春から手掛けたというドレスや和服を身に着け壇上を歩き、ポーズを決めてアピールしていた。

「保育を学ぶ「子ども文化コース」の生徒十四人は劇「こびとの間」の集大成が発揮でき

「くつや」を上演。巨大な舞台装置や映像演出、軽やかな踊りで会場を盛り上げた。同コースの荒川菜乃さん（ひは）は「保育実習で学んだ子どもたちを楽しませる技術など、三年間の集大成が発揮でき



集大成の作品を披露する生徒たち＝一宮市民会館で

た」と話していた。
(梶山佑)